

「ICT活用の特性・強み」を知ろう (第1回/全5回)

研修のゴール

GIGAスクール構想の趣旨や、ICTを活用する目的・必要性などについて理解する。

所要時間の目安 / 1グループの目安人数

20分程度 / 1グループ4名程度

準備物・資料

- **資料1**
(新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係)
- **資料2**
(教育・学習におけるICT活用の特性・強み)
- ワークシートイメージ1

研修の主な内容・流れ

- 「新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係を」を確認する。(3分)

資料1

新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係

2030年の社会と子供たちの未来 (平成28年12月中央教育審議会答申から抜粋)

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難に
Society 5.0
AI IoT
robotics SDGs
社会の変化に即していかし受け身の観点に立つたのでは難しい時代
変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものに。

平成29年、30年、31年学習指導要領

【原文】 これからの学校には、(略) 一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創成者となることができるようになることが求められる。

育成を目指す資質・能力の三つの柱

資質・能力の育成
各教科等で育成を目指す資質・能力の育成
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の教科横断的な視点に立った資質・能力の育成等

主体的・対話的で深い学び
授業改善
主体的・対話的で深い学び

第3 教育課程の整理と学習評価
個別最適な学び及び協働的な学び

第4 児童(生徒)表現の実現
個別最適な学び、協働的な学び
主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び及び協働的な学びに生かす

GIGAスクール構想 (1人1台端末・高速ネットワーク) (カブコム・マシソンにおける身体的な影響を配慮し、) 教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、新学習指導要領の趣旨を実現するための重要な役割を果たす。
①: Digital and Innovation Strategy for AI/ICT

研修を進める際の手立てと工夫



研修担当者

「各自で資料1を読んで、資料のポイントについて確認しましょう。」

【ポイント】

- ① GIGAスクール構想は、**学習指導要領の趣旨を実現するための基盤**となるもの。
- ② 教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、**資質・能力の育成を目指すことが大切**。

この2点について全員で共通認識をもち、「ICT活用の特性・強み」について具体的に考える展開につなげられるようにしましょう。

- 「教育・学習におけるICT活用の特性・強み」を見て、ICT活用のイメージをつかむ。(14分)

資料2

教育・学習におけるICT活用の特性・強み (GIGAスクール標準仕様において活用できるソフト・機能(例))

1人1台端末、高速大容量の通信ネットワーク環境下におけるICT活用の特性・強み	ソフト・機能
① 多様で大量の情報の取扱い、容易な試行錯誤	ウェブブラウザ、文書作成、表計算、プレゼンテーション、プログラミング
② 時間的制約を超えた情報の蓄積、過程の可視化	(①のソフト・機能に加え) クラウド管理、写真・動画撮影・編集・保存
③ 空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報の共有 (双方向性)	(①のソフト・機能に加え) コメント、アンケート、チャット、電子メール、ウェブ会議、ファイル共有

教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かすことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につなげ、情報活用能力等の従来はなかなか伸ばせなかった資質・能力の育成や、これまでの学習方法では困難さが見られた児童生徒の一部への効果の発揮、今までできなかった学習活動の実施が可能になる。



研修担当者

「資料2を見て、ICT活用の特性・強みによってどのような学習活動が可能となるか、互いに意見交換しましょう。」

※聞ききれない言葉を解説したり、具体的な授業場面の一例を紹介したりする等、ICTの活用が苦手な方も含めた全員が参加しやすいように、参加者の実態に合わせた設定を工夫しましょう。

※意見交換は、模造紙・ホワイトボードの活用や、**クラウドを活用した共同編集**で行うこともできます。



参加者A

「例えば、①の特性を生かすならウェブブラウザのキーワード検索、②の強みを生かすなら理科の学習で植物の観察記録ができますね。」



参加者B

「③の強みを生かすなら共同編集が当てはまりますね。これは校務でも活用できそうです。」

- 研修のまとめを行う。(3分)

【ポイント】

ICT活用においては、活用することそのものが目的とならないようにすることが大切です。

そのため、GIGAスクール構想が、**学習指導要領の趣旨を実現するための基盤**となるものであることを理解する必要があります。

このポイントについては、今後、研修を続けていく上で何度も立ち返るようにしましょう。